

大崎市民病院を受診された患者さんへ

当院では下記の研究を実施しております。

この研究の対象者に該当する可能性のある方で、診療情報等を研究目的に利用または提供することを希望されない場合は、下記の問合せ先にお問い合わせください。

情報の利用停止を希望された場合でも、治療に影響が出ることはございませんので、安心してお申し出ください。

NO.

研究課題名	免疫チェックポイント阻害薬の甲状腺機能低下症に対するレボチロキシンの用量に関する実態調査
当院の研究責任者	所 属 : 薬剤部 氏 名 : 佐藤 渉
他の研究機関および各施設の研究責任者	仙台医療センター薬剤部 小林 美奈子 奥羽大学 薬学部 木皿 重樹
本研究の目的	免疫チェックポイント阻害薬の免疫関連有害事象の一つである甲状腺機能低下症に使用されるレボチロキシンの用量の実態を調査する。また、甲状腺刺激ホルモンの推移と甲状腺機能低下症例に対するレボチロキシンの開始用量を検討する。
対象者	2014年9月から2021年7月に国立病院機構仙台医療センターと大崎市民病院において免疫チェックポイント阻害薬が投与され、かつ甲状腺機能低下症に対しレボチロキシンの処方された患者。 調査対象人数は100名とする。
研究実施期間	倫理審査委員会承認後 ～ 西暦 2022 年 3 月 31 日
調査データ 該当期間	西暦 2014 年 9 月 1 日 ～ 西暦 2021 年 8 月 31 日
研究の方法 (使用する試料等)	診療情報を後方視的に観察する。
使用する試料等	診療情報 (カルテ情報) 各癌種の治療に免疫チェックポイント阻害薬を投与された患者さんを対象とし、「免疫関連有害事象の一つである甲状腺機能低下症の発

	症の有無」、「甲状腺機能低下症治療薬のレボチロキシンの用量、甲状腺機能に関連する検査値の推移」、「免疫チェックポイント阻害薬の休薬の有無」
試料情報の他の研究機関への提供および提供方法	個人が特定できないよう匿名化し、メールにパスワードをかけた状態で提供します。
個人情報の取り扱い	匿名化して取り扱い、患者さん個人を特定できる情報は使用されません。
本研究の資金源（利益相反）	ありません
お問い合わせ先 （照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先）	住所：大崎市古川穂波三丁目8番1号 電話：0229-23-3311 研究責任者 大崎市民病院 薬剤部 佐藤 渉
備考	